

# 第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【予選】

## アナウンス部門 審査結果及び講評

会場	順	学校	名前	得点
----	---	----	----	----

審査講評
------

○遅くなりましたが、大阪大会予選アナウンスの講評です。

これからの活動の参考にしてください。

なお、発表者一人に対しての講評中、相反する講評もあります（例：内容がわからない←→内容がよくわかった）が、それぞれの先生が感じられたことを書いておりますので、その点をお含み置き下さい。

○ 得点は、5人の審査員が100点満点で採点した合計点（500点満点）です。

○ 審査員

A会場 加藤 奈穂 （府立箕面・主審）  
内野 洋子 （プール学院）  
谷口 勢津江 （夕陽丘学園）  
西野 宏美 （大教大平野）  
松田 朋子 （みどり清朋）

B会場 加藤 奈穂 （府立箕面・主審）  
内野 洋子 （プール学院）  
岡崎 美千雄 （府立今宮）  
谷口 勢津江 （夕陽丘学園）  
矢竹 聡子 （開明）

# 第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【予選】

## アナウンス部門 審査結果及び講評

会場	順	学校	名前	得点	審査講評
A	1	旭	種橋	332	滑舌に注意。さ行か行の練習を。声はいい。文末が転んでしまうのが惜しい。取材は丁寧に行っていることがわかる。時々名詞のはじめが落ちる。カ行の練習を。地元とかかわりの話題はよい。間を工夫しよう。間が少し開きすぎた。題材は興味深くてよかった。
A	2	仰星	諏訪部	決勝	やぎやましほ(?)が聞き取れない。「」の読みに注意。元気があってよい。声もよく出ている。原稿のオチが? インタビューした相手のセリフがながい。元気に読めている。セリフは切りすぎか。話のまとめは? しかし部員たちはのくだけり物語り調。メリハリ聞いていて意味をよく考えて読んでいる。「セリフ」の読みに工夫を。聴きとrysづい。Hsつきりちている。声の調子もよい。内容に訴えかけるものが欠けている。
A	3	府箕面	小山	327	いい声。さ行ら行の練習を。内容はつかめている。緩急をつけたほうがいい。いい声なのでもう少しマイクに声をのせて。上から下への基本に注意。カ行気をつけて。な行ら行の練習を。インタビューをうまく活かした原稿。柔な口調で聞きやすい。発音、言葉が滑っている。
A	4	三島	川本	322	マイクが近すぎる。原稿のテーマを一本に絞る方がいい。息の使い方(お腹でしっかり支えて)間のとり方が不自然なところがあったので、内容をよく考えて。「」という・・・の「」の後に間が入りすぎ。しっかり読んでいる。聞き取りやすい声なので声の高低をつけてみよう。マイクの使い方。強弱がはっきりしている。発音注意。
A	5	渋谷	小谷	342	きれいな澄んだ声。語尾が伸びる。平板なのが惜しい。声が波打っているところがあるので、読み下しを意識したほうがよい。よく通る声で聞きやすい。明るいニュースなのに、物悲しく聞こえるのはなぜ? 『箕面の森音楽会』などの固有名詞は立てたほうがよい。大事な言葉を立てることを意識しよう。声がよく通る。やわらかな口調。落ちついている。
A	6	仰星	野村	342	「大会」が聞き取れない。マイクに近すぎる。息の音が気になる。間のとり方に注意。話題は面白い。聞き取りやすい声なので、あっさりすっきりした読みを心がけよう。母音の口の開け方の練習を。語りかけるように読もうとしているのが好感が持てる。息継ぎが耳障りだが、発音発声題材良好。明るいトーンが良かった。
A	7	夕陽学	城山	340	「ロッカー」の「ロ」「ひろくて」の「ひ」など、は行ら行の練習をしてください。声はよく出ています。落ち着いて読んでいる。原稿の内容もよい。もう少しお腹から声を出してください。名前は立てて。セリフがゆっくりすぎる。文のつながりがおかしいところがある。夕行の練習を。学校の身近な話題でよく取材している。会話文との違いがない。題材はよいが、終わりの方の声の調子が元気がない。
A	8	大倉	大場	決勝	「4月」アクセント。ゴミ箱からもっと切り込めないか。しっかり読めている。伝えたい内容を意識したよみができている。一部発音の甘い単語に注意する。少し切りすぎ。よく通るいい声なので文の読み方をもう少し練習してください。マイクの使い方と切り方を工夫して読もう。訴えたいことが明確。最後まで聴き取りやすい。
A	9	夕陽学	高戸	340	「5ヶ月」「出場」「女子生徒」など転ばないように。内容はよく取材しているがもう一息深めてほしい。夕行など発音の弱い部分を鍛えると良くなる。リード文は原稿のテーマを伝えるので読み方を考える。日付の読み方。数字の読み方。サ行「シ」の音がよく落ちる。声の高低を使おう。美術部員の活気が伝わる声があればもっとよい。語尾が聞き取りにくい。調子が変わらず安定感がある。
A	10	貝塚南	山田	TIME OVER	情報の視点はよい。「行事」「絆」「2年生」など滑舌の練習を。ただ読み上げているという感じを与えてしまっている。固有名詞はとくにはっきり言わないと伝わらない。全体的に発音が不明瞭なので、しっかり鍛えてください。元気よく読もう。説明が多い原稿。生徒たちの声を取材するとよい。発音発声が弱い。内容は良いが元気が無い。(1分37秒、タイムオーバー)
A	11	仰星	赤澤	決勝	「闘って」のアクセント。視点は面白い。内容と息の使い方に注意。原稿内容をいきいきと伝えることができている。力みすぎているところは聞き取りにくくなるので要注意。元気のある読みでよいが、アナウンスにはあおりすぎ? 段落の変わり目には間をあける。うねりに注意。食堂の苦勞や元気が伝わる原稿。声の調子、強弱がはっきりして聴き取りやすい。内容も良好。
A	12	箕面自	中村	341	さ行…「自身」などに注意。原稿の組み立てに工夫を。インタビューした相手のセリフはもっと要約したほうがよい。いい話題。合唱祭の始まったきっかけと現在のつながりについてもう少し触れてほしい。間の取り方に注意。声はよい。文の区切りを工夫して落ち着いて読もう。発音発声が苦しい。
A	13	今宮	小川	323	波が気になる。よく取材している。声が澄んでいて聞き取りやすい。一文が長いので読みに工夫が必要。もしくは途中でできる。上から下への読みの練習を。うねる読みに注意。「」部分はもう少しコンパクトにまとめよう。単調。フレーズが長く聞き苦しい。
A	14	金剛	神長	340	高校生にとって重要なニュースに注目したのはよい。それをどう高校生に伝えるのか、の視点に立って原稿を作って欲しい。自分が何を伝えたいかを意識すること。学校の校内ニュースになりきっていない。マイクにもう少し声をのせて。文頭を高く読もう。インタビューを紹介した原稿で終わってるのが惜しい。強調したいことははっきり出すことが重要。
A	15	夕陽学	中島	決勝	可愛い声と読み。語尾が消えてしまうのが惜しい。声の質はよい。やや早口。読み、文末の終わりだけ急降下する。音の高低が使える。技術はあるがもっと効果的に使うこと。低音部の発声を鍛えればダイナミックな読みになる。声の調子、題材、強弱良好。語尾が流れることがある。
A	16	四天	吉川	336	語尾までしっかり抜けないように読もう。声はよく出ている。「書道」「企画者」などがか行さ行の練習を。読み方が単調。語尾が消えかかる。「し」の発音に注意。「」内がなんでそんなに低いのか。明るい話題なので声も元気に。訴えるものは?
A	17	渋谷	小林	決勝	1月のアクセントなどアクセントの怪しいところがあるから注意する。発声はできている。よく通る声でいい。競技かるたのコツを教えるという内容だが、学校の話として取り上げるというニュースとしてはどうか? 滑舌の練習を。インタビューの使い方がうまい。テーマがはっきりして、呼びかけができています。

## 第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【予選】 アナウンス部門 審査結果及び講評

会場	順	学校	名前	得点	審査講評
A	18	夕陽学	秋山	決勝	「が」の鼻濁音。「変わらない」のアクセント。しっかりきれいな声で読めている。「夕日井」についてどれくらい出ているのかどんな内容7日などもっと取材をしてください。内容が面白い。夕陽井の中身は？切り方に工夫を。身近な話題で親しみやすい。テーマがはっきりしている。
A	19	金剛	棚田	欠	
A	20	工専	知花	334	リード文が聞き取れない。1615年のアクセント。取材していることは伝わる。調べたことを並べただけという印象は否めない。校内ニュースになっていない。原稿はよくまとまっている。読みは落ち着いていてよい。うねりに注意。このプロジェクトと学校とのかわりを原稿に入れてほしい。テーマがはっきりしている。興味深い話題を入れて工夫がある。
A	21	初芝立	森井	欠	
A	22	みどり	切石	323	スマートフォンは何%の生徒が持っているのか、どのように使われているのかなどもっと取材してください。発音の甘いところが課題。緩急はしっかり付けられている。伸びる素地を備えている。「何人か」＝何人聞いたのか、何年生に聞いたのか。「切っても切り離せない」など言いにくいところを不自然にゆっくり読まない。イントネーションに注意。明るい言発声ができているのでもっと元気よく読もう。題材がよいので訴え方に工夫があればよかった。淡々として、強弱にかける。
A	23	四天	稲見	328	息が最後まで持たないのがもったいない。滑舌の練習を。取材よく出来ているがもう一息突っ込んで話を聞くともっと良くなる。サ行の練習を。特に「ソフトテニス」「スポーツ推薦」など作業で始まる名刺の声をしっかり出してほしい。明るい話題なのでもっと元気よく。笑顔で読もう。店舗がゆったりしていて聞きやすいが、少々間延びしている。もっとメリハリを付けてもよい。
A	24	梅花	小澤	失格	元気があってよい。声量はよい。語尾を下げよう。元気のある発声。楽しい話題。わかりやすく発声良好。興味深いテーマ。(原稿と異なるので規定により失格)
A	25	大倉	馬場	329	ぶつ切り感ももったいない。一個40円の唐揚げ、面白いテーマ。「毎日を過ごしていければと思います」で自分の主張になってしまっているのでNG。原稿の表現に工夫が凝らされている。切り方に工夫を。声はよく通る。最後の一文は意見になってしまっているのでニュース原稿としてはどうか。聞きやすい。テーマと内容が一致していたか？
A	26	附平野	鶴山	337	テーマが暗い。よく読めている。落ち着いて読めている。最後の原稿構成をもっと工夫したほうがよい。はじめの物語り調にしなくても、「特別なメニューは・・・から上げ」とシンプルに行けば？意味のあるまとまりで区切るように気をつけて。強調したい点が明確になっているか？最後の言葉はどういう立場で言っているのかわからない。
A	27	府箕面	溝内	欠	
A	28	学芸	角田	332	平板な感じ、テーマは食堂のパンだけに終わらないように、そこから広げていってほしい。話題からして、口角を上げて明るい声で読むのが適切。緩急をつける。授業に間に合わない・・・のくだり、もう少し取材がある。最後の締めが？元気よく読もう。せつかくのインタビューを活かそう。原稿のテーマを絞ろう。訴えたいことがはっきりしているが単調。
A	29	箕学園	村里	329	後半走ってしまった。転ばないように。いい声なので、もっとタツリと読むようにするとよい。勉強同好会ならそれに絞ったほうがよい。早口で「箕面学園」が聞き取りにくい。声の質はよい。「伝えたい」という気持ちをもっと出そう。速い。そんなに焦らなくても。最後の一文は不要。早口。テンポはよいが、残らない。
A	30	夕陽学	大橋	決勝	テーマは面白いがその落とし所が？で終わってしまった。声、読みはハキハキと明るくてよい。変化をつけるように。アナウンス技術自体は高い。読み方が単調。最後の一文、文面も読み方も工夫がある。いい声なので話題を選べば、すぐ映えると思う。原稿の内容はよい。語尾の走るところがあり。最後が聞き取れない。テンポ良好。題材は良かったが・・・。
A	31	浪速	西山	決勝	丁寧に読めている。原稿が学校紹介になっている。原稿の内容に合わせて読み方を工夫するとよい。マイクから遠い。しっかり落ち着いて読んでいるのでよい。身近な話題だが、原稿に生徒の声がほしい。意味のまとまりに合わせて読もう。聞き取りやすい。
A	32	夕陽学	門田	314	32番のアクセント。滑舌の練習を。取材よく出来ている。読み方が単調。原稿はしっかり書けている。数字のアクセント。カ行ダ行の練習を。珍しい部活で話題性は高いが、文の途中から急に上がることがある。よく取材した。もっとクラブの熱気の声が伝わる原稿にしよう。強弱がはっきりしない。
A	33	桃山	柴田	343	しっかり読めている。もう少し元気がほしい。一つ一つの事実を丁寧に伝えていく。アナウンスの基礎はできている。落ち着いて読んでいる。内容もよく伝わってくる。文頭を高く読もう。生徒の声も取材すれば内容はよく伝わる。淡々と読んでいる。
A	34	夕陽学	浦嶋	323	もっと元気よく。内容は興味深い。取材は良く出来ている。同じトーンで読んでしまっているのでこちらまで内容が伝わらない。全体的に低く暗いので元気よく、マイクに声をのせて読んでほしい。口をもう少し大きく開けて読もう。原稿の構成はよくできている。調子を崩さず読むことができた。訴えたい点があっさりしない。

## 第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【予選】

### アナウンス部門 審査結果及び講評

会場	順	学校	名前	得点	審査講評
A	35	今宮	横山	337	〇〇部が聞き取れない。「～たあ」と語尾が伸びる。声はよく通るきれいな声で元気なのがよい。勢いはよい。ひとつひとつの単語をもっと丁寧に発音する。上から下の基本を。文末の助詞が伸びる。しっかり止めること。うねりに注意。語尾や聞き取れない言葉が幾つかあった。声ははっきりしていて聞き取りやすい。
A	36	渋谷	村上	決勝	は行の練習を。「動き」=動きの後は鼻濁音。「人形が〇〇な動き」など聞き取れないところがある。声はよく出ていて聞きやすい。取材は相当丁寧になされている。しっかり読めている。間の取り方よい。アクセントに注意。原稿の構成はよい。興味深い話題。文末の処理に工夫を。
A	37	プール	岡田	決勝	声もよいしテーマも面白い。滑舌の練習を。大事なところが聞こえない。「タルトバザー」今回の主題なので、冒頭でもっと丁寧に発音する。緩急が付けられているのがよい。内容がよく伝わる。よく通る声。発声元気良い。聞き取りやすきはっきりした内容。
A	38	箕面自	近澤	決勝	聴きやすい。内容もよく伝わる。ちよと癖が出る。原稿の内容もよい。話題性があってよい。「イングリッシュランチ」はもう少したててほしい。聞きやすい声。わかりやすい原稿構成。内容アナウンス技術とも良好。
A	39	旭	札幌	327	テーマがちよと苦しい。元気がほしい。声は綺麗。もっと堂々と読んでほしい。声が細くて聞きとれないところがある。見れない→見られない。もっと声をマイクにのせて。聞きやすい声なのに途中で声が消えるのが残念。そつなくできているがパンチにかけられる。
A	40	仰星	荒木	341	「よごれ」のアクセント。しっかり読めている。最後の結びは工夫したほうが良い。丹念に取材していることがわかる。話題は面白いので、生徒の声をもっと拾ってもよかった。文頭を高く読み、聞きやすい読みの練習を。原稿わかりやすい。強弱、テンポに工夫を。
A	41	府箕面	福井	欠	
A	42	貝塚南	田原	320	ぶつ切れなのが惜しい。間を取ることぶつ切りに読むのとは違う。敬語の使い方を身近なところから学んでいるのはテーマとして面白い。「探してみると…ありました」の…はアナウンスとしては不自然な間。視点は面白い。読み方切りすぎている。ニュースの内容というよりも意見になっている部分あり。テーマは興味深くよい。棒読み調。
A	43	府箕面	高畑	327	全体に忙しい。元気がありすぎる？「」内の読みの工夫を。「～よ」は難しい。声量はよい。文と文の間がもっとほしい。声は元気があってよい。読みが早い。「もともと純粋な若者同士の…」アナウンスとしてはあおりのある文かも。元気のある読み。速くなるので落ち着いて。内容わかりやすい。内容良好。読み方・テンポが一本調子。
A	44	四天	小泉	決勝	はっきりと読めている。原稿の組み立てがよい。文末がやや早口。内容的に立てるところをもう少し工夫してほしい。よく通る声で聞きやすい。声よく通る。大事なことをしっかり伝える読みを工夫しよう。聞き取りやすい声質。間のとり方良好。
A	45	今宮	古賀	333	『45番』アクセント。「風通しのいい」が「かて通しのいい」に「ブルグ」が「ブルグ」に聞こえる。丁寧に読もうとしているのはいい。地の文と会話文の読み方を工夫する。話題は面白い。3段目校長先生の話した内容を「」でくっつけた方が良かったのでは。滑舌の練習を。文章はわかりやすい。題材は興味深い。声がこもる感じ。
A	46	岸和田	鍵本	332	「きしわだじょう」の「シワ」の発音に注意。「学問のすすめ」のアクセント。原稿はまとまっている。学校紹介ではなくてその中の一つに絞って書いてみるとよい。声の感じ明るくてよい。力行が行の練習を。新入生への学校紹介という体だが、話題が散りすぎている。明るい発声で聞きやすい。「～と思います」は不要。明るい元気な感じが好ましい。呼びかけの終わり方も感じがよい。
A	47	仰星	福井	決勝	聴きやすい。原稿にもう一工夫欲しい。伝えようという気概が伝わってきた。「気づく力」と部員の変化とのつながりを、もう少し掘り下げてほしい。大事な言葉が出てくるまでが長めかも。意味をよく考えて読んでいる。生徒自身の姿がもう少し具体的にあればもっとよい。わかりやすきはっきりしている。技術良好。
A	48	近大附	白井	決勝	「〇〇〇で流していくように」など聞き取れないところがある。全体にもっとメリハリを付けるとよい。原稿内容はもう一工夫を。一文が長いので読みにくそう。切り方に注意して読もう。声が明瞭で聞きやすい。単調だが訴える点にも力を入れていた。
A	49	三島	佐藤	341	「新入生歓迎会」のアクセントは、これでもいいけれど「かんげいかい」で落としたほうがよい。もっとあかるく！会話文の読みがうまい。原稿の内容も工夫されている。落ち着いて読んでいるがたどたどしい感じがする。もっと取材をしてクラブの活気を伝えよう。落ち着いて読んでいる。



## 第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【予選】

### アナウンス部門 審査結果及び講評

会場	順	学校	名前	得点	審査講評
B	1	箕面自	池田	302	早口すぎる。声は響いてきれいです。息をたっぷり使いましょ。落ち着いて読んでください。読み間違い詰まるところが惜しい。一つ一つの言葉を丁寧に読もう。焦ることなくしっかりと読めばもっと良くなると思う。早口なので語の音が落ちるところがある。
B	2	夕陽学	内場	321	さざり行の練習を。よく取材している。声はいい。しっかり読んでいるがところどころ音が消える。お腹からしっかり声を出そう。時々「は」など語の頭が消える。落ちついて話すことができます。声の大きさはよい。
B	3	梅花	内田	決勝	「3番」アクセント。いい声でよく読んでいるのに、マイク近すぎでところどころ聞き取れない。語尾が跳ねる。題材は面白い。声は聞き取りやすい。マイクに近すぎる。よく取材できている。切り方に工夫を。明るい発声。原稿構成良い。テーマを上手く伝えている。
B	4	近大附	徳山	331	語尾が伸びないように。意味で切るように。面白い内容。まとまりで読もうと努力していることがわかる。上から下へをもう少し意識して。抑揚の付かないよみを心がけよう。よく取材できている。聞き取りやすくなるように切り方に工夫を。インタビューの内容よくわかるが、少し引用の台詞が長い。
B	5	四天	大橋	欠	
B	6	桃山	谷	328	良い声。内容は面白いが構成が問題。SBSについては最初に持ってきたほうが良かった。「 」と(間が長い)話されていました。は行の発音に気をつけて。Mic少し近い。わかり易い文章だが、リード文が理解しづらかったのが残念。うねっている。
B	7	府箕面	永村	欠	
B	8	箕面自	大倉	330	「～したー」と語尾が伸びるのが気になる。落ち着いたよ読み。語りかけるような柔らかい口調で聴きやすいが、単語の聞き取れないところがある。「続く、暑い」などた行の練習を。サ行の練習を。取材でもう少し具体的な声がほしい。声は聴き取りやすい。
B	9	仰星	田中	330	聞きやすい声でよい。お腹から声を出そう。よくよめている。内容が学校案内風なのが惜しい。いいことは伝わる。しっかり落ち着いて読んでいるが少し切れ切れになるところがある。明るい声で気持ち良い。声の高低に気をつけて読むと聞き取りやすくなる。
B	10	夕陽学	栗山	313	「サイドライト」が聞き取れない。舌足らずな感じ。語尾が早く落ちすぎる。さ、し、ちの音が不明瞭。立てるべき音が立っていない。さ行た行の練習を。文末の読みが速い。一つ一つの言葉を丁寧に。声の大きさはよい。文章はわかりやすい。声の大きさはよい。
B	11	府箕面	平田	欠	
B	12	夕陽学	川野	312	ら行な行の練習を。母音の口の動きに注意。内容は伝わるがそれで何を言いたいのか？それほど暗い話とは思わないが、読み方が暗い。話の締めがまとまっていない。意味のまとまりを考えて読もう。お腹から声を出すようにし、一つひとつの言葉や文と文とのつながりを考えて読もう。もう一歩突っ込んだ取材を。
B	13	みどり	池野	303	鼻が詰まっている？声量が大きくなったり小さくなったりして聞きづらく損をしています。サ、シ、セの音。ザ行の練習を。内容的に立てるべき言葉をしっかり理解すること。一つひとつの言葉や文と文のつながりを考えて読もう。Mikeとの距離が一定ではありませんでしたね。「麻婆豆腐丼」が聞き取りにくいのは惜しかった。
B	14	箕面自	高木	321	「15人」「古典」アクセントに注意。「今年41歳になる」は必要か？。パディーになった生徒への取材があればよかった。より練習が必要。取材は良く出来ており聞きやすい声。しっかり口を開けて一つ一つの言葉を丁寧に読もう。意味のあるまとまりを意識して読もう。
B	15	府箕面	酒井	328	声がしっかり出ている。「」内の読みに工夫を。原稿面白い。ソフィアさんとジャポネの関係について中間部分であまり触れられておらずわかりにくくなっている。アナウンスには少し感情を入れすぎているかも。声の大きさ良く取材は良く出来ている。Mikeとの距離に気をつけよう。は行に気をつけて。原稿の終わり方に工夫を。明るい発声で気持ち良い。
B	16	梅花	向井	決勝	「リトリートキャンプ」？が聞き取れない。ぶつ切れ感がある。声はよく出ている。ハキハキ読んでいる。内容はよくまとまっている。は行の練習と間の取り方。聴き取りやすい声でしっかり発音できている文章はわかりやすい。ら行の練習を。切り方を工夫しよう。
B	17	桃山	戸田	314	お腹でしっかり支えて声を出そう。取材をもっとしよう。よく通る声をしているので練習してください。細切れにしすぎ。腹式呼吸に気をつけて最後までしっかり読めるようにしよう。声の大きさはよい。原稿の最初のリード文を工夫しよう。自分の意見は不要。明るい声で気持ち良い。

# 第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【予選】

## アナウンス部門 審査結果及び講評

会場	順	学校	名前	得点	審査講評
B	18	夕陽学	高岡	313	「4月」「使われて」「使いやすく」のアクセント。鼻にかかっている。アクセント注意。か行さ行、チ、ツの音。落ちついて読めている。声の大きさはよい。サ行、ら行の練習を。文章はわかりやすい。
B	19	渋谷	中矢	決勝	マイクに近すぎる。舌の音が気になる。しっかり読めています。読みは落ち着いて聴きやすい。言葉のつながりが不自然なところがある。よく取材できています。マイクとの距離に注意。メリハリが効いて、意味をよく考えて読んでいる。ら行の練習を。取材を良くしている。原稿の構成よい。
B	20	相愛	中村	決勝	ところどころ聞き取れないところがある。「2月」アクセント。きれいな声。校内向けのアナウンスなのか学校の宣伝なのか？きれいに読めてはいるので…。マイクとの距離に注意。は行に気をつけて。マイクを通して一つひとつの言葉がキチンと伝わるように。切り方に工夫を。文末走る所あり。声は張りがあり聞きやすい。
B	21	旭	長谷川	決勝	白○川さん(?)。声はよく出ている。全て出すのではなくコントロールするように。大学の専門学校はどんなところ？落ち着いて聞ける読み。文末が早くならないように、文の最後までしっかり読もう。わかりやすい原稿の構成。意味をよく考えて読んでいる。
B	22	大倉	角田	325	22番・1年11組のアクセント。歌うような感じが気になる。上から下への読み方を意識して。ところどころ不自然に高くなる。文の最後まで息が続くように普段から練習しよう。取材は良く出来ている。アクセントの確認を。わかり易い文章。もう一步踏み込んだ取材を。
B	23	三島	橋本	317	「～た」「～ます」はしっかり落とすように。「体育祭のBGM 募集」をまずリード文で出すべき。強調すべき言葉が強調されず、しなくて良い言葉が強調されている。最後の文もう少し落ち着いて。原稿の書き方も工夫しよう。アクセントに注意。身近な話題でよい。取材をして生徒の様子を伝えよう。
B	24	今宮	濱辺	324	確実に淡々と読めている。もっと立てるところを意識して。話題は面白い。もう少し読みに元気があってもよい。お腹から声を出そう。聞きやすい声。セリ太字の文を区別して読もう。取材に工夫を。
B	25	学芸	仁木	318	「25番」アクセント。文の早いところから落とすすぎている。イリを低く抑えすぎて文の終わりが苦しそう。もう少し声をマイクに乗せよう。あいさつ運動か自治会の人手不足か話題をひとつに絞ったほうが良い。音の首域を広げよう。サ行の練習を。明るい声なので文末まで丁寧に読もう。
B	26	貝塚南	安野	322	ところどころ聞き取れないところがある。滑舌の練習を。話題が変わる前には間がほしい。速い。「ミンシツピアカミガメ」など言いにくい固有名詞は丁寧に読んでください。サ行の練習を。響きのある声。大切な言葉は立てて読もう。
B	27	箕学園	森	320	「」とおっしゃいました。の「と」が立ちすぎ。5月27日のアクセント。良い声が出ています。聴きやすくわかりやすい。間のとり方に工夫を。は行の練習を。Mikeに近い。うねって読んでいるので気をつけて。声は張りがあり聞きやすい。リード文に工夫を。
B	28	四天	北野	決勝	丁寧に読めています。さ行の練習を。谷本先生からのメッセージが生徒に向けたメッセージだとわかりにくかった。わかり易い文章。声は聞きやすいので元気よく読もう。
B	29	初芝立	浅井	欠	
B	30	槻の木	菅尾	331	「力強いものでした」の「た」はしっかり落とす。一文が長くて読みにくいところがある。文ごとにもう少し間がほしい。ところどころうねって読んでいる。早さに注意。身近なクラブの話題でよい。
B	31	プール	川邊	決勝	面白いテーマ。もっと楽しそうに読もう。出だしが元気が無いのが惜しい。痩せやすい体になることだがほしい。文頭を高く読もう。大切な言葉は立てて読もう。一つひとつの言葉のアクセントに気をつけて、』文の最後迄息が続くように腹式呼吸を心がけよう。
B	32	渋谷	小寺	決勝	「津波古の○○」が聞き取れない。「津波古の…」タイトル名がききとれないのはNG。先輩の活躍を紹介する面白い内容。マイクから遠い。しっかり落ち着いて読めている。文章わかりやすい。元気をだして読もう。よく取材してうまくまとめている。
B	33	浪速	内藤	312	いい声です。息の使い方＝しっかりお腹で支えて声をコントロールするように。原稿は面白い。細切れになってる印象あり。落ち着いて読んでください。切り方に工夫を。「過言」は書き言葉です。滑舌の練習を。もっと取材を。
B	34	仰星	宮原	317	「学生寮」は「く」が無声化して、「せい」で落とします。アクセント辞典で確認して下さい。文のイリが低い。全体的にトーンが低めか。落ち着いて聞ける声なのでもう少し鍛えよう。ら行の練習を。うねって読んでいるので気をつけて。

## 第61回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【予選】

### アナウンス部門 審査結果及び講評

会場	順	学校	名前	得点	審査講評
B	35	城星	湯浅	決勝	ハキハキした読み。ところどころ語尾が転ぶのが気になる。ハキハキしているが慌てないように。数字などは聞き取りやすい。聞き取りやすい声。語尾が走るところがあり残念。後半まで元気に読もう。
B	36	翔学	市川	330	よく取材している。さ行『取材』などの練習を。7(しち)8(はち)言いにくそう。長い文は最後までしっかり音を保って。「～ますね」はあまりアナウンスとしては適切で無いかも。大切な言葉は立てて読もう。サ行「出場」の練習を。文章はわかりやすい。
B	37	今宮	三笠	315	「いまこうさい」が「まこうさい」に聞こえます。視点はよい。数字は強調するところです。ハナイエミサンの母音(い・えなど)を大切に読んでほしい。口をもう少し大きく開けて読もう。最後の一文についてもっと取材を。
B	38	夕陽学	小谷	313	もっと元気よく読もう。話題は面白いのに、全体的にトーンが低い。声が弱いので、しっかりお腹から声を出すように。よく取材しえる。もう少し元気がほしい。
B	39	成美	面家	決勝	リード文の「人文地○○」が聞きとれず最後まで何のことなのか分からなかった。取材は良くしている。話題は面白い。声も落ち着いて聞きやすい。セリフの部分がセリフだと聞き取れるように。原稿の構成よい。滑舌の練習を。
B	40	旭	林	315	もと元気に明るく読もう。取材をもっとしてください。楽しいニュースなのでもっと楽しく読んでほしい。第一文の「ウーパールーパー」ははっきり読もう。文章はわかりやすい。
B	41	夕陽学	東権	306	4月のアクセント。箒というテーマは悪くないが、そこからもっと掘り下げてください。か行た行の発音が不明瞭。アクセント注意。「箒の毛の先の部分の種類」って意味がわかりにくい。うねって読むところがある。話題は身近でよい。原稿構成わかりやすい。
B	42	三島	有福	325	「42番」「4月」のアクセント。元気で明るいのはいい。全部同じ調子ではなく、立てるところは立てて。元気な読みだが、マイクに近すぎる？どの文も同じ調子に聞こえる。一文ごとの間がもう少しほしい。マイク近い。切り方に注意。ゆっくり語ろう。文章はわかりやすい。
B	43	金剛	田中	323	語尾までしっかり息を保ってください。息が切れて聞き取れなくなります。きれいに読めています。明るい話題のはずでは？もっと元気よく読んでください。大切な言葉は意識して読もう。文章はわかりやすい。固有名詞に工夫を。
B	44	四天	富永	決勝	「○○日本史」「人間の○○らしさ」など聞き取れないところがある。最後の締めは先生がもう一度同じことをしようとしているってこと？「超軽日本史」という本の読みにもう一工夫欲しい。声は聞きやすい声。ところどころ聞き取れないところがあるが原稿の構成は良く、テーマは明確。
B	45	府箕面	井手	331	しっかり読めているが、息と意味の違うところがあって気になる。生徒が主語で、「・・・」と話してくださいましたはおかしい。声は元気なのでもう少し元気に。もっと練習をしてください。ところどころうねって読んでいる。よく取材しまとめている。鼻濁音良く出ている。聞きやすい声。文章にメリハリを付けて読もう。
B	46	仰星	志茂坂	310	全体に単調。校章というテーマからどこへ持っていくのかが不明。最後の文、話の締めとしてはどうか。文章わかりやすい。もっと突っ込んだ取材を。お腹から声を出すようにしよう。文の意味を考えて区切ろう。
B	47	旭	稲垣	318	良い声。「受粉」が聞こえない。母音の練習をしてください。原稿はわかりやすい。校内の話題というより構内のことがイチョウへの導入になっているとか…。言葉一つ一つを丁寧に読み、息をしっかり使って抑揚のない読み方をしよう。声大きさはよい。
B	48	仰星	中嶋	321	ら行の練習を。「ろ」の字型が「の」の字型に聞こえます。つながってのアクセント。最後の文は落ち着きが悪いかも？語尾が上がる所あり。最後にまとめの文を。抑揚のない読み方をしよう。落ちついて読んでいる。